

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/10/28号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



70ドル水準の攻防続く、安値修正と戻り売りが交錯

NY原油先物相場は、1バレル=68.50~72.50ドル水準で売買が交錯する展開になった。10月8日高値78.46ドルから10ドル幅の急落となる中、安値修正の動きが下値を支えた。引き続き中東情勢が不安定化していることも警戒され、ショートカバー（買い戻し）が下値を支えた。一方で、需給緩和に対しては根強い警戒感があり、戻り売りを入れる動きも強かった。結果的に明確な方向性を打ち出せなかった。

中東情勢は依然として緊迫化している。イスラエルはレバノンで大規模な空爆を実施し、ヒズボラの掃討作戦を展開している。一方、ヒズボラもイスラエルのネタニエフ首相宅にドローン攻撃を行うなど、攻撃を強化している。高いレベルの先行き不透明感が、原油相場の下値を支えている。一方で、現段階では原油供給に実害は生じておらず、地政学リスクのみで原油相場を大きく買い進むような動きは見送られている。激しい戦闘状態が続くと、イスラエルがイラン石油施設に攻撃を行うとの懸念もあるが、積極的な売買は見送られている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（10月18日時点）は、原油が前週比547万バレル増、ガソリンが88万バレル増、石油精製品が114万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

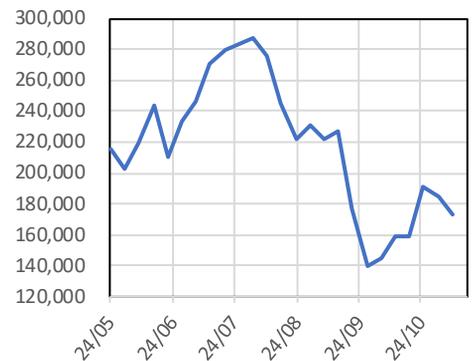
中東情勢を見ながらの展開も、需給緩和見通しで戻り売り

中東情勢に強く左右される地合になるが、戻り売り優勢の地合が維持される見通し。原油供給に実害が生じないのであれば、原油相場の押し上げ余地は限定される。仮にイスラエルがイラン石油施設を攻撃すると5~10ドルの急伸を迫られるリスクは残されるが、11月5日には米大統領選を控えていることもあり、大きな値動きは想定しづらい。地政学リスクに下値をサポートされながらも、需給緩和見通しの戻り売り優勢の地合が続こう。徐々に70ドル割れの取引時間が増えていく見通し。

中東情勢は依然として予見可能性が乏しい。イスラエルとヒズボラの間で激しい戦闘が続いているため、供給不安につながるような動きが見られると、投機買いが膨らみやすくなる。ただし、あくまでも注目すべきは原油供給に実害が生じるか否かであり、漠然とした不安心理のみで上昇した局面では、戻り売りの妙味が高まる見通し。週末10月26日にイスラエル軍は、イランの首都テヘランの軍事施設を攻撃している。週明け直後に大きく上昇すると、戻り売りの妙味が強まる。

月末・月初とあって経済指標の発表が集中する。10月31日と11月1日には中国の10月製造業PMIが発表されるため、改めて需要不安を織り込むような動きが見られるかに注意が必要。また、中国政府の景気対策を巡る動向にも注目したい。一方、米国では10月30日に7~9月期国内総生産（GDP）、31日に9月PCEデフレーター、11月1日の10月雇用統計などの重要指標が発表される。米経済の底固さが再確認され、米金利上昇・ドル高が進むと調整売りが膨らみやすくなる。また、11月5日に米大統領選を控えて、次期大統領のエネルギー政策を巡る思惑的な売買で不規則な値動きになる可能性には注意が必要。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

